



題字は岸信介先生書

2019年(平成31年)1月25日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/議会広報委員会 印刷/キッショウ株式会社 <http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikajimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp



平成31年 成人式

新春1月3日に成人式が西田布施公民館で挙行されました。本町の新成人は146名。会場にはみんなの笑顔と、はたちの自覚があふれていました。

12月定例会	2P
委員会レポート	4P
一般質問(6人の議員が町政の課題を問いました)	6P
視察研修レポート	12P
議会だより139号を読んでの感想です	14P
リレー随筆	15P
発見!クイズたぶせ?	16P



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

12月定例会

全小学校普通教室にエアコン設置 城南に町営住宅計画 所信表明



本会議 (12月10日)

平成30年12月定例会は12月10日から9日間の日程で、庁舎耐震工事のため町商工会館(サリジェ)で行われました。本定例会では、補正予算4件、条例5件、人事1件合計10議案を審議しました。なお初日の本会議では、6人の議員が一般質問に登壇しました。

町長提出議案

30年度補正予算

一般会計

歳入歳出の総額にそれぞれ9479万6千円を増額し、予算総額63億4955万3千円とするものです。

〈主な歳入〉

国庫支出金

3693万2千円増

県支出金

1685万4千円増

繰入金

3150万円増

〈主な歳出〉

民生費

8414万9千円増

衛生費

514万円増

教育費

1331万6千円増

【全員賛成】

特別会計

国民健康保険

歳入歳出予算の総額にそれぞれ78万2千円を追加し、予算総額20億2091万2千円とするものです。

【全員賛成】

下水道事業

歳入歳出予算の総額にそれぞれ671万6千円を減額し、予算総額8億8704万3千円とするものです。

【全員賛成】

介護保険

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2023万1千円を減額し、予算総額17億2278万5千円とするものです。

【全員賛成】



所信表明をする 東 町長

新年のあいさつ

新しい時代の始まり

新年のあいさつ

議長 清神 清



明けましておめでとう
ございます。町議会を代
表して町民の皆様にご
ご挨拶を申し上げます。
昨年一年を振り返ると
夏は災害級の暑さ、西日
本豪雨災害、迷走台風21

副議長 畠中 孝



明けましておめでとう
ございます。
昨年11月東町政がスタ
ートしました。少子高齢化
による影響でたいへん厳し
い運営を余儀なくされま
すが、経験を活かして町民

号、北海道での大地震、
さらに周防大島町では大
型貨物船の衝突による水
道管の脱落で長期断水し、
生活の不便さを実感させ
られました。
人は失って初めてあり
がたさを味わうものです。
近代化が生む「あつて
当たり前」その豊かさ
と便利さにどっぷりと浸
ることなく、感謝を忘れ
ず過ごしましょう。

また、今年一年がみな
さんにとって幸多い年
であることを祈ります。

の期待に添えていただき
たいと思います。

昨年暮れ岸元首相に関
する外交文書が公開され、
その中で日本の独立に並々
ならぬ決意があったことが
明らかにされました。あ
らためて岸元首相の人物像
に感心させられた出来事
でした。
今年、平成から新元号
に変わります。新しい時代
の始まりにふさわしい議会
運営に取り組みたいと思
います。

条 例

**町議会議員の議員報酬等
に関する条例の一部改正**
特別職の職員に関する
法律の一部改正に準じ、
田布施町議会議員の本年
12月期の期末手当の支給
率を改訂することに伴う
ものです。

【賛成多数】

**町長等給与に関する条例
の一部改正**
特別職の職員に関する
法律の一部改正に準じ、
町長、副町長及び教育長
の本年12月期の期末手当
の支給率を改訂すること
に伴うものです。

【賛成多数】

右の提案理由により

反対討論

松田 規久夫議員

特別職や議員には選挙
のハードル越えがあり特
別な存在かもしれないが、
住民との間に認識のズレ
があつてはいけない。世
中の仕組と整合させる必
要がある。60歳以下の特

別職、議員、町職員は報酬、
給与の減額の必要はなく、
人事院勧告に従いアップ
も必要だろう。現在、再
雇用者は減額が一般的だ。
報酬などの決定権のある
人の報酬が、世の中の仕
組と違うのはどう考えれ
ば良いのか。高齢者は公
的年金と報酬の二重取得
者でもある。頑張りには
ボランティアの要素も必
要なので、愛する田布施、
社会への恩返しをしては
どうか、と考える。

**職員の給与に関する条例
の一部改正**
平成30年山口県人事委
員会勧告に基づく措置等
を実施することに伴うも
のである。

【全員賛成】

**印鑑の登録及び証明に関
する条例の一部改正**
印鑑の登録の抹消事由
に、後見開始の審判を受

人 事

けたときを追加すると
もに、必要な条文整理を
行い、印鑑登録事務の適
正化を図るものです。
【全員賛成】
町指定地域密着型サービ
スの事業の人員、設備及
び運営に関する基準等を
定める条例の一部改正
【全員賛成】

副町長の選任について

前副町長 東 浩二氏
の町長就任に伴い、新た
に副町長に川添 俊樹氏
を選任するものです。
【全員賛成】



川添 俊樹 氏

総務文教

総務文教委員会を12月14日に開き、平成30年度一般会計補正予算、条例改正3件を審査しました。



総務文教委員会 (12月14日)

補正予算

一般会計

子ども医療費助成制度

Q 小学校6年まで拡充する医療費無料化、所得判定はどうか。拡充はどのくらいの期間か。

A 所得要件は父母合算で所得割額13万6700円以下。拡充期間については現段階では、期限なく続けていく予定。



大島大橋の修復工事

大島送水管事故

Q 給水応援に要する経費と財源はいくらか。

A 歳入52万8千円、歳出49万7千円、差額は公用車の燃料費に充当。

道路新設改良費

Q 立木建物補償減額1200万円減の理由を詳しく。

A 駅南地区を優先し、国費を充当した。そのため、他の箇所の事業を中止したため減額となった。

学校管理費

Q エアコンを小中学校に設備するが、電気代はそれぞれどれくらいか。

A 見込みで中学校561万円。小学校は649万円となっている。8月分の電気代は中学校で約1.5倍となっている。



中学校のエアコン

社会教育費

Q 発掘調査表土除去工事500万円増の内容は。

A 安全施設の設置と、仮土置場の防護壁を設けた。駐車場整備、試掘調査の結果よりも、土量が増えたため工事費が増額した。



中溝遺跡(宿井)発掘現場

施設の修繕

Q その都度行うことも必要だが、町の施設は老朽

化しているのだから全体をよく見て計画的に実践しては。

A 予測がつくものに関しては事前に行う予定にはしている。



老朽化した中央公民館

ゆめ花博

Q 田布施町の日が台風で中止となってしまったが、何か影響はあったか。

A 中止後も必要経費の支払いを県が認め、予算内で対応できた。

【全員賛成】

条例

田布施町議会議員の議員報酬に関する条例の一部改正について

【賛成多数】

町長等の給与に関する条例の一部改正について

【賛成多数】

田布施町職員の給与に関する条例の一部改正について

Q 人事院の勧告で行われると思うが、市に比べると、町のほうが低い。視察に行くといけない、田布施町の議員報酬は低い。予算が厳しいのも承知している。県の人事から指示があるのか。

A 町の給与は県の給与表と同じもので7級までで対応している。県の給与表も来年度から国の人事院に移行するというのを聞いている。またそのあたりは3月議会で上程予定。

【全員賛成】

経済厚生

経済厚生委員会を12月12日に開き、平成30年度一般会計補正予算を予備審査、特別会計補正予算3件、条例2件を審査しました。



経済厚生委員会 (12月12日)

補正予算

一般会計(予備審査)

住宅管理費

Q 公営住宅麻郷団地整備工事状況について

A 国からの補助が減額されたため、建物の長寿命化と安全化を優先して外壁と、手すり工事だけを行った。



豆尾踏切

Q 道路新設改良費
豆尾踏切の拡幅工事はどうなっているか
A 今年度は、田布施駅から豆尾踏切まで補償。豆尾踏切から農工高側の50mを来年度以降事業を行う予定。



工事中の麻郷団地住宅



宿井地区ほ場整備

Q 農林水産業費県補助金
農地中間管理事業とは。
A 農地中間管理機構を中心とする関係者の連携で農地集積・耕作放棄地解消を推進する事業。
Q 今現在の木地地区にいる研修生はどうなるのか。
A 31年度から農事組合法人葛岡瓜迫に就農予定。



送水管が垂れ下がる大島大橋

大島送水管事故
Q 今回の事故での経費は、予算的にはどちらが負担するのか。
A 4月に結んだ協定に基づき今回は、周防大島町が負担する。
【全員賛成】

特別会計
国民健康保険
療養給付費、高額療養費の補正がないが足りるのか。
A 予算内で収まる予定。
【全員賛成】



介護予防の百歳体操

下水道事業
Q 工事業者は。
A 町内業者となっている。
Q 町内業者等、開発行爲に關しては、団地造成業者にお願いする。
【全員賛成】

田布施町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に關する基準等を定める条例の一部を改正する条例
Q 介護事業所の人員等はチェックしているのか。
A チェックしている。
【全員賛成】

条例

田布施町印鑑の登録及び証明に關する条例の一部改正
【全員賛成】



総務・経済ともに「視察研修レポート」は12ページに詳しく掲載しています。



12月定例会 一般質問

6人の議員が町政の課題を問う

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

都市計画税

徴収の根拠がないのでは

松田 規久夫

税の維持は妥当

東 町長



松田 規久夫 議員

Q昭和37年から未来の市街化を展望し、任意税を導入している。昭和の発展期から平成の安定期(停滞期)、今後は少子高齢化に伴い衰退期となる。町の立場は固定資産税では田舎、都市計画税では市街化を目指すダブルスタンダード(二重基準)で相反し根拠なし。

A都市計画(開発・整備・保全)のための税で、公共下水道事業、都市計画道路事業、公園事業などを推進し、住みよい安全安心な町づくりを目指すのが目的。一般財源ベースで3億6千万円程度。税収は約9千万円の充当率25%であり、税率0.3%は維持したい。

固定資産税

減額補正のない理由は

松 田

次回の評価替えまでに 町長

Q土地の評価方法で、土地の不整形、間口狭小、奥行き長大の補正をしない理由は。申請すれば自分の所有している土地が減額の可能性があるなど、多くの人は知らない。住民は行政を信頼している。税は公平・公正でなければならぬ。検討中の処置が長すぎでは。

固定資産税と都市計画税は、毎年1月1日(賦課期日)の所有者に課せられる。

固定資産税の課税標準…固定資産課税台帳に登録されている固定資産税評価額

固定資産税…課税標準額×1.4% (標準税率)

都市計画税…課税標準額×0.3% (税率の上限)

A総務大臣が作成する固定資産評価基準を基に、本町の土地状況を考慮した田布施町土地評価基準を3年に1回の評価替えごとに作成。次回の評価替えに向け、公益財団法人山口県不動産鑑定士協会の3名の不動産鑑定士の意見を踏まえ、協議し対処する。



役場職員の窓口対応

A日本が抱える全国共通の課題。国が進める全世代型の社会保障制度改革と足並みを揃えて社会保障施策に取り組む。財政健全化の流れを後退させず、財政運営を行う。労働力の絶対的不足が前提となる社会を想定し、持続的かつ安定的に行政サービスの提供を目指す。

職員数の半減は可能か

松 田

財政健全化と職員数

日本が抱える課題

町長

Q人口減による自主財源の減少と高齢化による社会保障費の増大が見込まれる。新町長はどのように田布施丸の舵取りをしていくのか。また、職員

数について、総務省は2040年構想研究会の報告を受け、地方職員の半減を検討している。田布施町は実現可能か。

子ども・子育て

医療費無償化の拡大を

瀬石 公夫

実施に向け準備中

東 町長



瀬石 公夫 議員

Q 町長は、出馬表明で子育てに優しい町に取り組みたい。医療費無償化を小学校6年まで拡大する。今後、中学校、高校も対象とするか検討したいと決意されていた。医療費無償化は、私を含めて一般質問で度々取り上げられてきた。スピード感を持って対応してほしい。

A 私は、公約の一つとして、子ども医療費助成の年齢拡充を掲げてきた。来年度4月から、対象を小学校6年修了まで引き上げるための準備を進めている。今後も他の子育て施策とのバランスをとりながら、対象年齢の拡充等、制度の充実について検討する。



たぶせちびっこまつり（西田布施公民館）

国民健康保険

来年度の保険税額は

瀬石

据え置きたい

町長

Q 医療費は、ここ数年は低い数字で推移しており、29年度国保の繰越金は1億1800万円。基金は1億3000万円と多額である。①来年度の保険税額はどうか。②国は公費投入は「自治体で判断いただく」としている。一般会計繰入で保険税を下げては。

A 今年度の国保会計は収支不足が生じる見込であるが、繰越金で補う予定である。来年度の保険税のアップは抑えたいと考えている。基金を活用し現在の税率に据え置きたい。一般会計の繰入による保険税の引き下げは、県による指導・助言の対象となるため困難。

ふるさと詩情公園

隣接河川道路の舗装を

瀬石

護岸工事終了後になる

町長

Q ふるさと詩情公園前の田布施川河川敷道路は、通勤や買物として、また町民の散歩道として利用されているが、長年未舗装である。雨天時には水たまりができ泥沼化し、晴天時には埃が舞い利用者は困っている。舗装を行い詩情公園と一体的な環境整備をされては。

A 以前からこの舗装要望は聞いている。現在、護岸工事を施工中で今年度役場の対岸側、31年度に役場側、32年度以降に水道企業団より上流の護岸工事となる。舗装工事を行うとしても、工事終了後になる。可能な限り、道路補修を行うとともに、工事が概ね終る頃に検討。



未舗装のふるさと詩情公園前の道路

長信前町長からの引継ぎ

頼まれたことなどないか

河内 賀寿

引継書に基づいて行う

東 町長



河内 賀寿 議員

Q 11月14日、長信町長は退任、翌日から東新町長の町政がスタートした。副町長時代から前町長とは、二人三脚で頑張ってきたので、お互いの気持ちを通じ合っておられたと思う。そこで、これはぜひと、引継ぎで頼まれたことなどあればお聞かせ願う。

A 長信町長時代に副町長として、一般的な事務に携わってきたので、ほとんどの流れや懸案事項等は理解している。引継書に基づいて行うがそれ以外で、「新たにこうしたことに取り組んで欲しい」とか「これは是非に」といったような話は、特にはない。



引継ぎをする新旧町長

小学校のエアコン設置

夏までに間に合うか

河内

6月末完成予定 町長

Q この夏の異常な猛暑により、学校のエアコン設置に関して、国の補助案が決定した。本町もリース案で小学校に設置予定とのことだ。しかし、全国一斉整備が始まれば、材料不足などが起こると思う。夏が来るまでに、4校全てに設置完了することはできるのか。

A 本町は「交付金事業による設置」と「リースによる設置」を比較検討した結果、リースのほうが有利と判断し、事務手続き中。スケジュールとしては、1月にリース業者を決定できれば、2月から工事着工して、6月末には完成し、7月から使用可能となる予定。



中学校のエアコン

英語教育

ICTを利用しては

西本 篤史

大いに参考にする 尾崎教育長



西本 篤史 議員

Q 佐賀県上峰町のICTを活用した英語教育を視察した。授業は45分で担任、講師の説明の後、フィリピンとオンライン英会話を15分行う。学習に意欲が出て、他の科目の成績も県の平均以上となった。学校のパソコンを使えば可能である。導入してはどうか。



上峰町のICTシステム
フィリピンとオンラインで英会話を学習する

A ICT機器を活用した授業の在り方等、現在小・中学校の情報教育担当者の意見等も聴取しながら、整備の在り方について検討している。
ALTを活用した授業とは異なった手法であり、費用等を含めて検討の余地があると考え、大いに参考にしたい。

ネオニコチノイド系農薬とは

タバコに含まれるニコチンに似た物質を主要成分とする農薬の総称。1990年代に登場し、殺虫剤などの用途で使われている。神経伝達物質アセチルコリンの受容体に結合し、神経細胞を興奮させ続けて昆虫を死に至らせる。成分が根や葉などから吸収され、作物全体に行き渡る浸透性に優れ、少量で高い効果が長期間続くことなどから普及した。生態系への影響、子どもの脳の発達に悪影響を及ぼす可能性を指摘する専門家もいる。

環境問題

対策は万全か

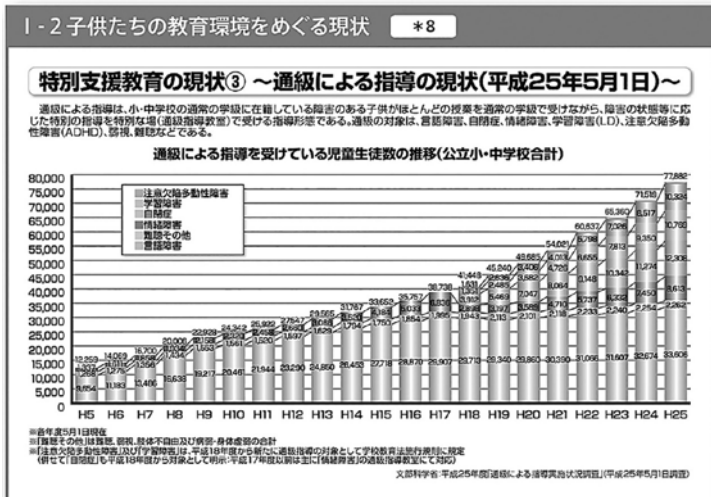
西本

指導、啓発に努めている

東町長

Q 快適環境づくり連絡協議会で、農薬「ネオニコチノイド系」影響が報告された。この農薬は農地だけでなく殺虫剤など家庭でも使用されている。人体への悪影響も指摘され、子どもの発達障害の増加も指摘されている。町も農薬の危険性の啓発を行ってはどうか。

A 農薬の危険性について、パンフレット等を配布して生産者への農薬を使用する際の注意喚起を行っている。安心・安全な農作物の生産や化学物質による健康被害などに対する関心が高まり、農薬の適正使用及び飛散防止対策。農薬の適正使用の指導・啓発に努めている。



文部科学省 HP データ集より
支援児童は右肩あがりである

まち・ひと・しごと創生総合戦略

具体的内容は 竹谷 和彦

民間主導で行う

東 町長



竹谷 和彦 議員

Q 平成27年10月田布施町まち・ひと・しごと総合戦略には河川公園でのワークショップの開催・実施等が掲げられているが実施・企画・主催はどこが行うのか。また光市の冠山公園に設置されているような野外イベント用の野外ステージの設置を検討しないのか。

A 河川公園においてワークショップの開催・実施等については行政主導ではなく民間主導で行う。実施時期、内容は未定。現在、近隣公園で開催されるイベントでのステージ使用は、さくら祭りのみと想定しており、野外ステージの設置は考えていない。



さくらまつり会場の田布施近隣公園

需用費等経費

経費削減は

竹 谷

取り組んでいく 町 長

Q 平成29年度決算の需用費一般会計1億4440万円、特別会計1億923万円で委託料は一般会計5億9326万円、特別会計1億1710万円だったが今後いかに経費削減に取り組むのか。また観光パンフレット作成は近隣市町より高額だが適正価格だったのか。

A 電気については中国電力と長期契約を行うことにより電気代のコスト削減に努めている。観光パンフレットについては、平成27年度「地方創生戦略」策定時に選定した業者に委託して作成した。パンフレットの内容や価格等についても適当だと考えている。



観光パンフレット

地域振興

麻里府地区の将来像は

國本 悦郎

「元気生活圏づくり」に着手する

東 町長



國本 悦郎 議員

Q 人が循環する要になる麻里府小学校の廃校に伴う地区の振興は、予算措置や執行ができない地区に委ねるものではなく、町が将来像を示すべきである。

A 県が進めている「元気生活圏づくり」に将来着手し、地域が取り組むこと、行政と一緒に取り組むこと、行政が取り組むこと等、地域で生活する住民自身による手づくりの「地域の将来計画」を策定していただきたい。

麻里府地区の将来像

- Q のんびらんど・うましまの施設の今後の改修や運営は
A 修繕や備品の更新、今後の運営は指定管理者と協議し、通年営業ができるような体制づくりを検討
Q 耐震性のない旧麻里府小の校舎は
A 校舎内には「立ち入り禁止」の表示をし、今後は、連合自治会等と協議
Q 複合施設としても機能する公民館の移転の準備は
A 中央公民館の問題を解決し、次に麻里府公民館の移転等の検討
Q 堤防建設の進む漁港と国道を結ぶ広い道路の建設は
A 本事業には道路建設の事業メニューがないので、本事業での実施は困難
Q 国道の戎ヶ下へ抜ける歩道の拡張は
A 次期計画の検討に入れていただけるよう働きかけ
Q 麻里府地区に移住者の受け皿づくりの拠点化は
A 空き家バンク制度を活用し、物件として登録して移住者の受け皿に
Q 買物バスと通学バスを併用しての有効活用や利用料金の値下げ、移送サービスは
A JRや防長交通と協議しながら、外出困難な高齢者などの外出手段としてどのような施策が実施できるのか、実施主体である町社会福祉協議会と検討

A ①小6で77・5%、中3で、62%、ルールを決めている子どもは高い傾向②中学校の定期テスト期間に合わせた実施し、保護者も肯定的③今は専門家を招聘して直接指導に移行④PTAや学校運営協議会等の力を借りながら今後町民全体への啓発をしていく。

スマホと学力

スマホ使用のルール作りは

國本

小中ともに8割に達していない 尾崎教育長

Q スマホが学力を破壊すると警鐘乱打されている①家庭でのルール作りはできていますか②ノイメディア・ウィークの実態と保護者の反応は③情報モラル教育は継続的に行われ、その効果は④コミスクの中で地域・保護者一体となったスマホの弊害の取組は。

学力 脳機能
スマホを使うほど、学力が下がります。
脳にもダメージ!!
長時間使うと、記憶や判断を司る部分の脳の発達に遅れが出ます。
公益社団法人 日本医師会 公益社団法人 日本小児科医会 のポスターより引用

経済厚生

11 月 6・7 日に鳥根県飯南町、
鳥取県日南町へ視察研修に行きました。



移住者が多く、「住みたい田舎」ベストランキングで、中国地方にて「若者世代」「子育て世代」「シニア世代」の 3 部門で第 1 位である鳥根県飯南町へ、「移住促進」を研修テーマに視察しました。

平成 29 年度に定住施策を通じて移住した人は 54 人で、町の人口の 1% 以上というから驚きです。

40 人前後で推移していた移住者がこれほどの移住者数になったのは、移住を促進する支援制度と町の職員が親身に対応する体制、それに地域環境が多くの人に評価されたと胸を張って説明されました。

特に、田布施町にない施策としては、「農林業定住研修制度」と「定住促進住宅」の建設で、多くの移住者がその恩恵に浴しているようでした。

定住推進の体制では、地域振興課内に「定住支援センター」と「人材確保支援センター」専属で、4 名の職員を配置し、その中に I ターン者を充てているのは画期的でした。

町内の 90% 近くを森林が占めると言われる鳥取県日南町へは、「農林業研修制度」を研修テーマに視察しました。

日南町の農林業研修制度は、月々の研修手当を受けながら、2 年間の研修期間を経て、3 年目には就農という流れになっています。

独立就農等を支援する制度が充実しており、平成 21 年からの事業実績では、53 名の採用した研修生の定住率は、農業で 6 割を超えているが、林業では 5 割を切っています。

両町とも、移住を促進する支援制度が充実しており、アイデアを駆使しながら意欲のある若い人を惹きつけているように感じました。



飯南町で研修

総務文教

10 月 30・31 日に熊本県宇城市、
佐賀県上峰町へ視察に行きました。



平成 30 年 10 月 30 日に熊本県宇城市にて地方公会計の活用について研修しました。宇城市は平成 17 年に 5 町が合併し人口 59000 人、一般会計当初予算 363 億円です。徹底した費用の削減やバランスシート＝貸借対象表を作成して、財政実態を明確にして市政を展開してきました。電力の入札で九電から関電にして年間 3000 万円削減や、日々仕訳や新会計システム導入により財政の立て直しをしました。

佐賀県上峰町では ICT を活用した英語教育について研修しました。町長は 39 歳と若く、活力のある町でした。ふるさと納税も 17 年度 66 億円あったそうです。ICT (Information and Communication Technology) 「情報通信技術」を活用した英語教育は、平成 27 年から 5、6 年生を対象に行っています。ALT (外国語指導助手) との授業の会話は 1 人 1 分程度ですが、ICT はマンツーマンの会話で 1 人 15 分の発話量が確保出来たそうです。授業は 45 分で担任、講師の説明の後、フィリピンとのオンライン英会話を 15 分行います。(今年度より ALT は参加しない) 児童はすぐ慣れ親しんで外国人と会話を楽しむそうです。また、学習に意欲が出て、他の科目の成績も県の平均以上となったそうです。初期費用、委託料も掛かりますが、効果は上々であったそうです。



上峰町で ICT を体験

熊毛郡議会広報連絡協議会 研修会

平成30年10月22日に熊毛郡議会広報の研修会が平生町で行われました。出席者は田布施町、平生町、上関町の広報委員

です。今回は「議会広報の編集について」の研修で、編集作業の手順や、印刷製本費の軽減などを意見交換しました。



平生町役場 (10月22日)

熊毛郡町議会議員合同研修 大会



上関町総合文化センター (11月8日)

11月8日(木)に上関町総合文化センターにて熊毛郡町議会議員合同研修大会が行われ、田布施町議会からは全員(13人)が参加しました。研修内容は「山口県の救急医療・周産期医療体制について」で、講師は山口県健康福

祉部医療政策課 主幹・嶋田栄一郎氏と松本哲也氏がされました。ドクターヘリの他県との広域化や妊産婦、新生児の医療提供など説明がありました。質問では田布施町議員より救急車の広域化をしてほしいなどありました。

県内町議会広報研修会

平成30年11月16日に和木町コミュニティセンターで山口県町議会議長会主催の町議会広報研修会が行われ、田布施町、和木町、平生町、上関町の広報委員36人が参加しました。分科会(情報交換会)では連載記事を設けている

か、住民の声を議会だよりに掲載されているか、若者世代に読んでもらえる工夫はしているか、など意見が出ました。田布施町では今年からクイズを始めたことで他町より質問が相次ぎました。



和木町コミュニティセンター (11月16日)

議会だより

139号を読んでの感想です

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙な中にもかかわらず、毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

クイズ！きかいだより

叶 宏子

世の中には知っているようで知らないこと、分かっていて分かっていないことが、たくさんあるものです。議会だよりの新コーナー「発見！クイズたぶせ？」を読み、答えが分かった時は、童心にかえったようで早速応募し、その場に行って確かめてきました。わかる喜びは大人も子供も一緒です。何人の方が応募されるのか楽しみです。

139号も、決算概要がグラフィ化されたり、一般質問に関連してデータや写真が掲載されたりして、編集に携わる方々の日夜の努力が手に取るようでした。

そこで、「発見！クイズたぶせ？」に地元の名所旧跡の問いも良いのですが、議会だよりを隈無く読めば答えが分かる問いを時に入れてみるのもどうかなと思います。おのずと町行政についての理解が深まることの一助となるかもしれません。

139号を読んで

國廣 悦子

表紙のゆるキャラと子供たちの笑顔に心が和み、まだまだ田布施にも若い世代がいることに安心させられます。夕方暗くなるまで部活をする中学生、元気に挨拶をしてくれる小学生たちも、いつかはこの町を巣立っていくのでしょうか。

わが町も、高齢者の割合が非常に高くなっています。必要とされる介護職員が確保できるのかという意見がありました。

新聞では外国人の人材派遣などの話題が紙面にぎわせていますが、まだまだ現実的とは言えません。介護予防に力を入れるとの回答でしたが、介護保険のサービスだけでは限界があります。情報交換や安否確認、時には助け合うことができるような集いの場が、町のあちこちにできたら、もしかしら独居で不安を抱えている方が安心して暮らせる町になれるかもと、ふと思いました。

楽しみが一つ増えた

土谷 伊津美

表紙に毎号、子供達や若者の写真が使われているので、議会だよりを親しみやすくしています。

元気な子供たちのエネルギーが、今の田布施を活気づけ明るい未来につながるっていく気がします。

9月の定例会は29年度決算について書かれていましたが、歳入歳出、数年前からの推移などをグラフに表されており、数字に弱い私にもわかりやすく理解できました。主な質疑のQ&Aも関連写真などを載せてあり、簡潔でわかり易くまとめられています。

毎号楽しみにしているのは、議員リレー随筆です。議員の方が一般質問で発言される内容の他に、日常生活や趣味などを通して、普段の人間柄が見えてくるのが興味深いです。また、楽しみが一つ増えたのは、発見！クイズたぶせ？です。数字と活字に疲れた目に、ホント、ちよっと一息です。

議会だよりを読んで

高橋 正和

日頃、現職に追われて町政について考えることはあまりなかったが、「たぶせ議会だより」を読み我が田布施の町政がどうなっているか？考えるきっかけとなった。

第139号の9月定例会の一般質問において、迅速な情報伝達に「SNS」をとあるが、7月の豪雨の時、町の警戒避難放送が全く聞こえなかったことを思い出した。色々なメディアで伝達する必要があると思った。温暖化が進む中、近年の豪雨、台風や各地で多発している地震も他人事ではない。

また団塊の世代が75歳以上になる2025年問題は団塊の少し後の世代の私にとっても考えさせられる問題である。健康管理に努め介護を必要としない自立老人を目指すのであればと自分に言い聞かせた。

長信町政の総括答弁を讀み、改めて長年町政のために尽力されたことに深く感謝します。

高齢化社会と防災

中坪 哲治

「9月定例会一般質問」の欄で、6人の議員の皆様様の町政への意気込みを毎回心強く拝読しております。

その中で、自然災害による甚大被害防止への課題や高齢化社会への課題についての質疑を興味深く読みました。

昨年発生した災害、被害のなかで、北海道胆振地震の大停電や長期断水、周防大島町の全島長期断水被害などの報道から、電気と飲料水・生活用水欠如の複合被害への対応はどうあるべきか、「南海トラフ巨大地震」の発生は無視できない状況下であり、重大複合被害発生を前提とした対応策の構築も検討すべき課題の一つと実感しました。

高齢化社会の中では、近隣との人間関係を大切にしたいコミュニケーション作りにより、人命救助を第一に避難支援、被災後の支援策等の構築実現に向け協力してゆきたいと思っております。

断水に思うこと



穴井 謙次

大島大橋への貨物船衝突事故により水道管が破断し周防大島町が四十日に渡る長期断水にみまわれた。町民の方々のご苦労やご心痛は大変なものだったろうと思う。

一方我が身を振り返り蛇口を開ければ水が出るのは当たり前、つい必要以上の水を使っている自分をあらためて反省させられた。自然災害、人災と何が起こるかわからない今日、ごく普通に無事日々が過ごせることへの感謝と共に、「無駄を省き、あつても贅沢に流れない、全ての物を大切に生かして使う」生活習慣が身につくよう自らを戒めている。

ご趣味は



西本 篤史

ある日突然、我が家にパトカーがやってきた。え、お巡りさんが降りてきて、お届け物です。警察の広報誌「みちびき」を持って来てくれた。パトカーで来てすみません。

後日、今度は夜に2人のお巡りさんが歩いてやってきた。え、何事？。少年相談員の任期が来ますので次期もよろしくお願ひします。はい、良いですよ。で、ご趣味を一つ聞かせて下さい。まあ、写真を少々。そうですか、私も写真が趣味ですよ。以前、鑑識に居ましたので。それって趣味？。いやいや、それから一眼にはまって野鳥を撮ってます。あゝびつくり。

議員リレー随筆

3月定例会の日程(予定)

11日	本会議 (初日) (一般質問)
13日	予算審査特別委員会
15日	経済厚生委員会
19日	総務文教委員会
22日	本会議 (最終日)

【問合せ先】
議会事務局
☎(52)5800

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会(3月・6月・9月・12月)と必要がある場合に開かれる臨時会があります。議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

※いずれも午前9時から
※正式には3月6日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。

◆議会を傍聴される方は傍聴規則により、傍聴席に携帯電話・スマートフォン等を持ち込むことはできません。

3月議会は本庁舎耐震工事ため、町商工会館(サリジエ)で行われます。ご注意ください。



議会広報委員会委員

このメンバーでの編集は今号で終わりです。2年間大変お世話になりました。

? このメダルは、田布施町郷土館の
展示物の一つです。さて何でしょう？



「なんだ簡単だ。」と思われて答えを
書かれると思わぬ事実の落とし穴に
引っかかるかもしれません。現物を見
に行かれれば正解の説明文があり
ます。正解がわかった方はぜひ、
ご応募ください。

前号で大変ご好評いただきました。みなさん、
田布施についてどのくらいご存知でしょうか。
前回の正解は
『国木田独歩の碑』でした。
この石碑は麻里府公民館横にあります。

発見！クイズ
たぶせ
?

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・
電話番号をご記入のうえご応募ください。

●宛先

〒742-1592

山口県熊毛郡田布施町大字下田布施 3440-1
田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り 平成31年2月28日

●Eメールからもご応募できます

gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp

正解の中から抽選で1名様に千円分の図書カードを
お送りします。

※お1人様1回限りのご応募とさせていただきます。
複数ご応募いただいた場合は無効といたします。

編集後記

平成31年の新春を迎え謹んで
新年のお祝詞を申し上げます。
5月には新しい元号に変わ
り、また10月には消費税率が
10%に変わろうとしています。

技術が進化し、身の回りが目
覚ましく変化していく中で、何
を守り、何を変えていくかをし
っかり見極めていかなければな
らないと思います。

広報委員となり初めての「議
会だより」の編集に関わりまし
た。

本誌が皆様方と議会のパイプ
役とし変わらずご愛読いただ
けるよう努力してまいります。今
年もよろしくお願ひ申し上げま
す。(穴井)

議会広報委員会

- 委員長 河内 賀寿
- 副委員長 西本 篤史
- 委員 谷村 善彦
- 〃 國本 悦郎
- 〃 竹谷 和彦
- 〃 穴井 謙次